

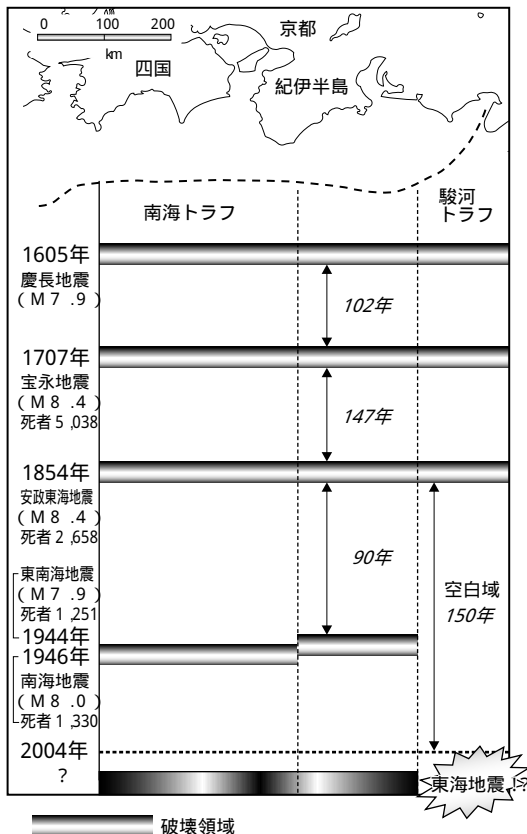
巨大地震発生！その時あなたに

～東海地震など大規模地震に備えて～



安全安心課 66 1156

東海地震と東南海・南海地震



駿河湾から四国沖にかけての太平洋沿岸は、過去においておよそ100年から150年の周期で、マグニチュード8クラス（阪神淡路大震災がマグニチュード7.2）の大地震が繰り返し起きています。

駿河湾付近を震源とするものが「東海地震」、紀伊半島沖付近を震源とするものが「東南海地震」、四国沖を震源とするものが「南海地震」と呼ばれており、東海地震が起これば、渥美半島から四国にかけての広い範囲で東南海地震、南海地震と呼ばれる2つの地震が発生する可能性があると言われています。

明日起きても不思議ではない

千854年の安政東海地震が起きてから今年でちょうど150年。大地震の発生は「日一日と迫っている」とも言われています。

東海地震

安政東海地震（千854年）から約150年間、大地震が発生していません。このことから、地震の原因となるプレートのゆがみが相当蓄積されていると予想され、いつ大地震が発生してもおかしくないとみられています。

東南海・南海地震

おおむね100～150年の間隔で発生しているため、今世紀前半での発生が懸念されており、中部圏、近畿圏などの防災対策を早急に確立していく必要があります。